連合専門部・単位自治会及び各種団体の活動内容

総務部　　部長　伊藤　正男

総務部は緑園連合自治会の事務を統括する部門です。
主な業務としては、年次総会の開催、新年祝賀会の開催等行事の企画から実施まで全般を行います。また、広報紙「緑園連合ニュース」を4回／年発行し活動状況を地域住民に広報しています。また各種行事を女性団体協議会（連合女性部）と共に運営しています、特に女性部の協力は地域活動の中で重要な役割を果たしています。これらの業務を6名の部長・副部長で担っています。また月例の会長会・定例会の案内・出欠確認・資料の取り纏め・議事録の作成と全般を行います。総務部は各事業においては裏方の部分が多くありますが、行事が無事終了した時には達成感を味わうことが出来ます。

連合ニュース編集発行

防犯防災部　　部長　田村　守雄

連合自治会の防犯防災部は、8自治会の防犯責任者8名を核に構成され、主として防犯に関する事項を担当しています。年6回の定例会を開催し、各自治会が独自に実施している防犯パトロール、青パト隊による青色回転灯車両パトロール、緑園東・西小学校登下校時の見守り活動などの安全諸対策実施状況掌握、情報共有に努めています。12月には、恒例となっている「緑園地域年末防犯総決起大会」を、泉警察署、泉区役所、新橋ケアプラザほかの応援を得て、連合自治会の主たる年間行事の一つとして、主催しています。防災に関する事項は、緑園東・西小学校地域防災拠点運営委員会がその任を担っています。

年末特別パトロール

施設管理部　　部長　杉山　昌樹

緑園会館運営委員会は連合自治会代表と各自治会代表、緑園都市コミュニティ協会（RCA）代表メンバーで構成され、毎月の定例会や随時発生する様々な問題解決に取り組んでいます。施設としては2丁目の「自治会館」及び7丁目の「緑園クラブハウス」です。この両施設とも建設以来30年近くとなり、最近は修理が多くなっています。年間運営費は約200万円。加えて将来に備えた多額の積立金が必要です。特にクラブハウスは雨漏りが多く発生し、現在もその対応を行っています。将来の建て替えは多くの資金が必要となるため、毎年の主要な検討テーマとなっています。地域の活動場所として、住民がより楽しく使用できるよう今後も管理をしていきます。

自治会館

緑園 1丁目自治会　　副会長　葉山　恒夫

1丁目自治会は緑園の南部に位置し、現在の会員世帯数は約400世帯です。近年高齢化が進み，組織の維持に四苦八苦しております。この地域には大きな遊水池や緑園西小学校への通学路があり，遊水池の周辺区域はZONE30の交通規制がしかれ児童の通学路の安全に効果をあげています。自治会の行事としては，春のお花見，夏のお祭り，暮れの餅つき大会，新年のどんと焼き等住民参加の行事が多くあり，また町内メイン通りの清掃をクリーン＆グリーン活動として道路の美観維持に努めております。特に今年からは子供会の協力を得て，多数の児童や父兄も参加していただき除草や植栽の剪定がスムーズに行われるようになってきました。元気に作業に没頭する子供たちを見ていると心が洗われる思いがいたします。

クリーン＆グリーン活動

緑園２丁目自治会　　会長　杉山　昌樹

2丁目自治会の現在の会員数は510世帯。加入率はおよそ7割で、区域内にある自治会館と東田谷公園が主な活動の場所です。春の花見会と暮れの餅つき大会には、多くの会員が公園に集い、楽しい親睦の場となっています。自治会全体で取り組んできた「蚊の撲滅大作戦」は既に12年目を迎えました。こうした取り組みの先駆けとして、多くのマスコミにも取り上げられ、この活動は緑園地区全体はもとより、他の行政区にも及びました。会員の高齢化が進み、自治会組織の維持が喫緊の課題ではありますが、会員全員で、少しずつの時間と知恵を捻出しながら、そこに居ることが心地よい地域づくりを目指しています。

春の花見会

緑園３丁目自治会　　副会長　石井　孝明

3丁目自治会は緑園都市駅の北西部に位置し現在の会員数は約630世帯です。自治会の行事は、春に健康増進を目的とした歩く会、災害に備えた防災訓練を行い、いざというときのつながりを大切にしています。秋は地域交流として社会科見学とレクリエーションを実施しております。日頃は防犯パトロールや公園清掃に役員・班長を中心に頑張っています。5月～9月にかけては公園清掃日に雨水枡へ蚊を抑制する薬を入れて地域全体の蚊の発生を抑制し、健康安全につなげています。3丁目役員は、ひとりの方に負担を負わせることを避けるために会長職を3人の副会長が分担し、定期的に交代で活動を行っております。高齢化もあり、役員負担の軽減を目指した省エネ自治会を心がけております。

防災訓練

緑園４丁目西自治会　　前会長　八谷　道紀

当自治会はサン・ステージ緑園都市西の街とグレーシア緑園都市ガーデンプレミアという、いずれも相鉄系の開発会社によるマンション住民が会員であり、3丁目と並んで駅から最も近いエリアにあります。買い物、食事、医療など5分以内に行けることも、住んでいる方はそれほど感じてはいないかもしれませんが、他地区から見ると随分便利なところのように思えているようです。夏のサマーフェスタは野外の生バンド演奏を中心に飲み物、つまみ類の販売などを地元の商店とのコラボで行っています。冬のもちつき大会は、防災の炊き出し訓練を兼ねて、発電機や防災用備品の取り扱い訓練などを自治会独自の年中行事として行っております.

もちつき大会

緑園４丁目東自治会　　会長　竹内　直樹

緑園4丁目東はその大部分がサン・ステージ緑園都市東の街区域と重なり、会員数約1,180世帯を抱える緑園地区の中で最大の自治会で御座います。当自治会内には保育園があり、噴水や遊具を備えた小さな公園が多数あり、子育てもしやすい環境です。また春は桜、夏は緑が美しく、秋は紅葉と四季折々の自然に触れながら生活の出来る住環境となっております。自治会活動としましては、役員及び班長の方々を中心として日々の防犯パトロールや環境美化活動、冬の餅つき大会など行事を多数実施しております。今後もこの住環境を保つために行政機関、他の自治会の方々とも連携し、住みやすい街づくりを推進してまいります。

餅つき大会

緑園５丁目自治会　　会長　田村　守雄

昔は名瀬村に属し、地名は北ノ入と称していました。北ノ入公園はその名残です。現在は緑園地区の東部にあり戸塚区名瀬地区と戸塚カントリーに接しています。自治会会員数は350世帯です。自治会活動は総会をはじめ、ふれあい祭り、もちつき大会が自主イベントで毎回多くの住民が参加し、ふれあいを楽しみます。防災防犯活動は毎週町内をパトロールし安全・安心に注力し、特に災害時要援護者支援活動（キズーナ活動）は緑園の先陣を切って「情報共有方式」を導入し取り組んでいます。環境活動は資源分別回収や蚊の発生抑止活動、公園清掃などで成果を上げています。 このほか福利厚生部中心に「五楽会」でウォーキング・ソフトボール・カラオケを又29年度より「居場所つながり」をスタートしました。このような活動は「5丁目だより」で住民に6回／年お知らせします。先に決定した義務教育学校は5丁目内に建設される予定で既に測量が始まっています。引き続き住民の安全・安心努めてまいります。

ふれあい祭り

緑園６丁目自治会　　会長　伊藤　正男

6丁目自治会は30年前に緑園が開発された当時から入居している住民も多く、緑園地域の中で最も高齢化が進んだ会員数670世帯の自治会です。緑園都市駅前から四季の径を北に向い、緩やかな坂道を上りトンネルを越えると六丁目になります。この四季の径は四季折々の花たちを楽しむ散策路として、また朝夕は通勤通学路として住民に親しまれています。自治会の行事も多く、春はふれあい祭り、秋は日帰りバス旅行、冬はお餅つき大会を行っています。防犯防災活動は防犯パトロールをはじめ、いざ災害というときの要支援者支え合い活動を通して住みやすい町づくりを目指しています。

ふれあい祭り

緑園７丁目自治会　　会長　成田　俊人

緑園7丁目は泉区の北東端に位置し、北は旭区、東は戸塚区に隣接しています。こども自然公園の第2駐車場や周辺の広場も、住民はいませんが緑園7丁目です。旭区との境界付近は、武蔵国と相模国の国境で、又、分水嶺になっており、この北に降った雨は東京湾に、南に降った雨は相模湾に注ぎます。 7丁目自治会は一般会員数221世帯の小規模な自治会ですが、小規模だからこそできる顔の見える関係作りを目指しています。毎年、お祭りや餅つきを7丁目公園（こども自然公園第二広場）で開いていますが、地域の多世代の大人や子供たちが知りあえるように、子供会の行事と同時に開催しています。連合自治会の運動会で大いに盛り上がるのも、当自治会の特徴の一つです。

お祭り

関連組織の紹介

緑園地区社会福祉協議会　　会長　菅野　英夫

地区社協は「人・和のあるまち緑園」をスローガンとして、「誰もが安心して暮らせる地域社会をみんなで作り出す」ことを目的として、関係部門と協働で活動しています。現在第3期福祉保健計画を推進中ですが、具体的には子どもと高齢者、健康づくりと予防、支え合い・助け合いを取組の目標にしています。子育ての連携、見守り活動支援、居場所の充実、食事会の開催、健康体操の充実、災害時要援護者支援、認知症サポーター育成、施設訪問・障がい者支援等について積極的に取り組んでまいります。地域の皆様が、ふれあい、知り合ってお互いを見守り、支え合い、助け合い“つながり”が出来るまちを目指しています。そのために福祉活動の中心となり、連合自治会・各種団体・行政・区社協・地域ケアプラザと協働して取り組んでまいります。

福祉ふれあい祭り

スポーツ推進委員　　代表　井上　喜芳

スポーツ推進委員は横浜市から委嘱されて、横浜市、泉区、緑園地区の各種イベントに協力して活動しています。横浜マラソン、世界トライアスロン、泉区駅伝大会、泉区ふれあい祭りへの参加、子どもの集い、中川管内ドッジボール大会、緑園夏祭り、緑園連合運動会、緑園マラソンに運営協力しています。また、青少年指導員と青少年居場所作りの活動を行っています。月1回小学生以下の子どもを対象に、卓球、縄跳び、パソコンゲームなどの遊び場を提供しています。さらに季節にあったイベント（流しそうめん、お月見団子、ハロウィン、クリスマス、凧作りなど）も合わせて開催しています。これからも横浜市、泉区のイベントに協力し、緑園地区の活動に参加して、地域住民の方々のふれあい、健康、楽しみ作りに貢献していきたいと思います。

緑園連合運動会

青少年指導員　　代表　水戸　正広

青少年指導員は『地域で育てよう！青少年。』をキャッチコピーに、青少年の自主活動とその育成活動を推進することにより、地域ぐるみの青少年健全育成を図ることを目的に、活動を行っています。
私たち緑園地区青少年指導員は現在11名おり、①横浜市及び泉区行事（居場所作りや青少年フェスティバル等）への運営　②連合自治会行事（夏祭りや運動会等）への参画・サポート　③自主活動（一斉パトロール・社会見学）を主な活動としており、青少年の育成はもちろんのこと、地域の活性化に様々なかたちで携わらせていただいています。これからも、地域の子供たちが明るく・のびのびと成長していくサポートができればと思っています。

社会見学:防災センター

女性団体協議会（連合女性部）　　会長　川口　美江子

緑園連合女性部は、緑園8自治会より2名選出された、女性16名で組織された団体です。内容としましては、緑園連合自治会主催行事である、①緑園夏祭り大会の受付、接待、放送・音楽係等、②緑園敬老祝賀会の来賓・敬老者の受付・プログラム配布、敬老者対応等、③緑園連合運動会の受付、来賓対応等、④緑園新年祝賀会の受付、会場準備、来賓対応等の完全サポートが仕事の団体です。表には出ない裏方が専門ですが、女性特有のきめ細かさでそれなり緑園を支えているという自負を持って楽しく活動しています。又泉区においても泉区連合自治会主催行事にも出向しています。

緑園連合夏祭り受付

民生児童委員協議会　　会長　牛見　とも子

緑園地区民生児童委員協議会は平成元年12月1日から活動が始まりました。民生児童委員は地域の皆様の問題や困り事をお聞きする身近な相談相手です。支援先や行政に繋ぐパイプ役でも有ります。子育て支援、高齢者支援、障がい者支援と様々な問題を学校、行政、ケアプラザ（包括支援センター）各関係機関と連携を持ちながら取り組んでいます。月1回誰でもが気軽に参加できる居場所も開催しています。高齢者同士の情報交換の場お互いの安否確認の場となっています。近年においては高齢化も進み一人暮らし高齢者も増加しております。私達民生児童委員は小地域という生活の場にいる事で、高齢者問題、地域課題を自分達の問題として発見できます。団体の間の強い絆を生かし今後も高齢者問題だけでなく子育て障がい者の課題についても地域一体となり、相互協力のもと誰もが安心して住み続けて行ける地域作り、孤立化防止に取り組んでいきます。

AED の訓練の様子

保健活動推進員　　代表　岡本　けい子

緑園地区保健活動推進員は地域の健康づくりの推進役、行政健康施策のパートナー役として、地域において、生活習慣病予防などの健康づくり活動を行います。今年は横浜市保健活動推進員組織として70周年を迎えます。私たち推進員は市・区主催の講演会、講習会への出席、各種イベントへの参加などがあります。　緑園地区においては連合夏祭り大会、敬老祝賀会、連合運動会等の救護班として、又秋に行われる「福祉ふれあい祭り」では、「健康チェック」を開催します。このイベントには毎回100名以上の参加があり、すっかり定着し地域住民の健康づくりの場として今後も継続して行きます。また、体力測定会や各自治会の居場所作りも支援し、地域福祉保健を推進して行きます。

福祉ふれあい祭り健康チェック

環境事業推進員　　代表　横尾　四郎

ヨコハマ3R夢（スリム）プランとは、Reduce・Reuse・Recycleの三つのRを意味し、ごみの減量化と脱温暖化に取り組み、豊かな環境を後世に引き継ぐことで、子供たちが将来に「夢」をもつことができるまち・横浜の実現を目指して、多くの市民の方々と進めている事業です。
緑園地区環境委員会では「ごみ処理（分別等）」について真剣に取り組むべき課題と認識し、年間を通して環境委員会活動をはじめ、緑園地区の夏祭り、運動会、ふれあい祭り、年末一斉清掃等において「ごみ回収場の設置」「分別回収指導」「環境ブース設置」など緑園地区の清潔できれいなまちづくりと皆さんがごみのことで困らない住みよいまちづくりの実現を目指しております。

福祉ふれあい祭りに出店

消費生活推進員　　代表　坂田　禮彦

私たち横浜市消費生活推進員は、横浜市消費生活条例（平成8年施行）に基づき、市から委嘱されて、地域の皆さんの安全でより良い消費生活をサポートすることを目的として、活動しています。市や区が実施する研修等で様々な勉強をし、消費生活に関する正しい知識と「消費者力」を身に付け、振り込め詐欺・悪徳商法から身を守るための啓発活動、初夏晩秋年2回泉区ビッグイベント・衣類のリユース活動（写真）、快適消費生活推進のための普及宣伝活動などを行っています。消費者トラブルに遭わない、安全・快適な地域づくりを目指しています。

衣類のリユース活動

家庭防災員　　代表　平和　伸仁

家庭防災員制度は、昭和43年に誕生した制度です。平成22年から家庭防災員制度（委嘱、研修内容）を見直し、平成24年から本格運用されています。近年、自然災害が多く発生しており、「自助」とともに「共助」の重要性が高まり、その中核をなす人材を育成する制度でもあります。家庭防災員は、防火、救急、地震、風水害、災害図上訓練（DIG）などの研修を泉区各地からの参加者とともに受けます。また「家庭防災員研修修了証」を横浜市長からいただくことができます。緑園連合自治会内では、『緑園ふれあいまつり』にて防災関連のグッズの配布や情報を提供しています。防災に興味のある方は、ぜひ、家庭防災員として研修を積まれることをお勧めいたします。

家庭防災員メンバー

交通安全協会緑園支部　　支部長 石井 義昭

泉交通安全協会は、区内や地域での交通事故の撲滅を目指すための社会奉仕活動をしている団体です。緑園支部内の学校や自治会等の事業に積極的に参加し活動しています。活動している主なものは

1. 季節ごと小学校等の通学横断路の立哨指導を行う。
2. 小学校等の交通安全教室を実施する。
3. 地域の夏祭りやふれあい祭りの交通誘導を行う。
4. 敬老祝賀会の参加者・来場者の交通誘導を行う
5. 神社例大祭の神輿巡行の交通誘導を行う。
6. マラソン・駅伝大会や区民祭りの交通整理を行う。
7. 地域の飲食店等に飲酒運転撲滅PR活動を行う。
8. 駅前等で交通安全広報活動等を行う。

今後とも、各自治会や関係部門と協力し、地域の安全に取り組みます。

夏祭り大会の案内・誘導

交通安全母の会　　会長 梶ヶ谷 陽子

緑園地区交通安全母の会は、単位自治会の代表15名で構成され、泉区全体での交通安全運動や交通事故防止の交通安全教育、登校指導の推進を目的に活動しています。　主な地域活動としては、春秋の交通安全週間に緑園東小学校と緑園西小学校で交通安全教室を行い、また幼稚園・保育園へ訪問し人形劇による交通安全教室なども行っています。　泉警察署関係諸団体との連携による交通安全キャンペーンにも参加しています。　このほか、連合自治会行事への協力諸活動も行っています。　交通ルールを守り、安全な地域緑園となるよう、交通安全母の会は、活動していきますので、これからも皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

年末特別パトロール

防犯パトロール協議会　　会長　横川　　満

「緑園地区防犯パトロール協議会」（協議会の設立は平成18年6月）では、犯罪のない緑園を目指し、青色回転灯搭載の防犯パトロールカー（通称「青パト」）による巡回を行っています。青パトは、緑園住宅地の安全はもとより子供たち通学時の安全を確保する為、新たな「安全・安心のための住民活動」の取り組みとして、RCAが企画・立案・推進して立上げ、パトロール車両の提供をして始まりました。現在は犯罪に対する抑止効果を狙いパトロールの際、隊員は新たに防犯ベストやキャップを着用し、防犯活動を行っていることが一目で分かるようにしています。パトロールは子供たちの下校時間帯や侵入犯の多い薄暮の時間帯に実施し、ボランティアの隊員がシフトを組んで見回っています。最近は男性ばかりではなく、女性の方々にも積極的に参加いただき、安全・安心な街づくりに活躍していただいています。現在はRCAと連合自治会の共同事業として運営されています。これからもご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

青パトカーによる巡回

青少年居場所づくり協議会　　会長　田村　靖志

当協議会は「青少年の居場所を通じて世代間の交流を図り、以て青少年の健全育成活動を行う」を目的として、青少年指導員、スポーツ推進委員、主任児童委員から構成され、未就学児・小学生を対象に毎月第4土曜日に地域交流センターでイベントを開催しています。イベントは時節を反映し、春は兜作り、夏は七夕飾り、秋はお月見団子作り、冬はクリスマスケーキ作りと、計12回開催し、主催する側は大変ですが楽しみにもしています。7月に実施する震災宿泊体験は特別なイベントです。小学校体育館で段ボールでベッドを作り協力して宿泊を行い災害への心構えを持ってもらいます。このように、当協議会は地域の青少年に密着し、健やかな育成ができるよう各種イベントで貢献していきます。

震災宿泊体験での救護学習

緑園地区シニアクラブ連合会　　会長 後藤 登美雄

緑園地区（シ）連は横浜市老連、泉区シニア連の傘下に属し、平成17年に中川地区より分離、誕生した。緑園地区連は東花会、南、北緑友会を統括運営し「高齢者の生き甲斐と生活を豊かにする活動」「地域を豊かにする社会活動」をモットーにしている。市、区の行事はもとより、地域では連合自治会、社協との“つながり”で夏祭り、ふれあいフェスティバル、運動会などに参加協力し高齢者の存在をアピールしている。特に主催する芸能祭は人気の中心である。活動の中身は研修会、定例会、旅行会、グランドゴルフ、ウォーキング等。課題は単位クラブの増設、若手会員の増強、後継者の育成。ビジョンは仲間の輪の拡充、地域文化の継承、交流ネットワークづくり、等々。社会福祉ふれあい祭りに出店、これからも連合自治会や社協と連携しながらシニアの活性化に精一杯努めて行きたい。

福祉ふれあい祭りに出店

緑園南・北緑友会　　代長　根本　　暉

「緑友会」は、緑園地区最初の老人クラブとして、昭和63年4月に発足した「緑寿会」が母体です。会員数の増加に伴い、平成12年に「南緑友会」及び「北緑友会」に名目上分離して今日に至り、来年発足30年を迎えます（現会員数　84名）。老人クラブに期待される役割は、会員が日々健康で楽しく生きる、つまり「健康長寿」に役立つ活動をすることです。その一環として、趣味のサークル活動を支援しています。カラオケ、グランドゴルフ、マージャン、卓球、食べ歩きの会等があり、会員相互の親睦を深めつついきいきと楽しく活動しています。このほかに「日帰りバス旅行」、3か月ごとの誕生会、研修会、講演会、及び地域社会への感謝を込めた「さわやかクリーン運動」＝（クラブハウス、自治会館、緑園都市駅周辺の道路清掃ボランティア活動）があり、泉土木事務所から、ハマロード・サポーターの認定を受けています。今後とも、地域社会と連携を深めながら、各会員にとって魅力あるクラブづくりを目指し、仲間をもっともっと増やすべく様々な活動を続けてまいります。

花壇の奉仕活動

東の街シニアクラブ東花会　　会長　菅沼　富男

緑園地区シニアクラブ連合会傘下のシニアクラブ・老人会で会員数73名です。平成14年4月に東の街のマンション11棟が完成したのを契機に誕生しました。健康・友愛・奉仕をスローガンに、生活を楽しくする活動、高齢者同志のつながりをつくる活動、そして地域を豊かにする活動を行っています。具体的には、毎月1度全員集合の定例会、懇親会、7月は暑気払い、12月には忘年会を開催しています。講演会、音楽会、落語会、貸し切りバス利用の旅行会、歩こう会、そしてつながりの深化をもとめる友愛サロンがあります。サークル活動は絵手紙、書道、ハーモニカ、カラオケ、麻雀など11サークルあり、奉仕活動はハマロード・サポーターの一員となって街路清掃、小学生の交通安全のための交通誘導と頑張っています。それから緑園地区諸団体の諸行事への参加協力と、多岐にわたって活動を進めています。今年は東花会創立15年です。これをひとつの節目として、会員の増強、若返りを図って、会の発展へと歩を進めてまいります。

定例会・暑気払い風景

緑園地区活性化委員会の活動

代　表　　長谷川　幹夫

＜設立のいきさつ＞

泉区では、地域協議会が立ち上げられ、区内12地区の全連合自治会、町内会に経営委員会が設立されました。緑園地区活性化委員会は平成21年に設立され、今年度9年目を迎えました。

＜委員会の構成＞

各自治会の代表、連合自治会の活動団体の代表、横浜緑園高校をはじめとする各学校、泉区区政推進課、横浜市建築局、相鉄ホールディングス（株）等の関係者及び専門家で構成されています。近年福祉関連のテーマが増加しており、新橋ケアプラザの関係者にも参加いただいています。

＜地域の課題の摘出＞

地域が抱える課題や将来に向けてのまちの在り方等について、構成委員によるブレーンストーミング方式による意見集約を行っています。委員会発足時に約半年間かけて行ってテーマアップに繋げ、その後も随時テーマの改廃に繋げています。

＜テーマアップ＞

基本的には委員の手上げ方式でテーマが選ばれ、活動が進められています。

I.　緑の園の継承（クリーン＆グリーンアクション）

公道植樹帯の除草、樹木の剪定、植え替え等。緑園地区の周回道路に沿って、一丁目、二丁目に続き三丁目も参画し、低植栽のサツキの再生が出来上がりつつある。六丁目、四丁目西にも相談中。

II.　緑園坂の駅ポンテ

高齢者の買い物支援。泉区農産品の地産地消事業を推進。泉区下飯田地区の片野農園等の農家の協力をいただき、緑園の各所の他、横浜緑園高校の学祭等でも野菜・果物の販売を実施。

III.　小学生作文コンクール

「わたくしたちのふるさと　このまちを　しっかりとみらいにつなげよう！」をテーマとし、緑園東小学校及び同西小学校の児童を対象に、作文を募集。審査の上入選者を表彰し、入選作品集を編纂。事業開始以来6年間継続。

IV.　緑園子ども見守りプロジェクト

緑園東小学校及び同西小学校の3年生に花を育ててもらい、希望された家々に配る。世話をしながら、児童の登下校時声を掛けてもらう事業。当事業は、神奈川県警察本部、泉区等の指導、支援のもと推進している。神奈川県下において2例目。

V.　緑園いきいきマップ

横浜緑園高校の学生中心に、フェリス女学院大学、横浜市建築局、泉区役所、相鉄ホールディングス（株）及び専門家の協力を得て、緑園の行事マップの作製にチャレンジした他、青物野菜を使った「緑総カレー」を考案し、カレー店「ミトチャ」さんの協力で　商品化。緑園街カフェにて販売した。

VI.　泉区伝統文化の活性化

泉区歌舞伎保存会・定期公演の支援や子供和太鼓の活動支援実施。

VII.　タスカル

住民間の交流を目的とし、年4回、交流会を開催している。時流に沿ったテーマの講演や、フェリス女学院大学の学生を招いての交流も行っている。平成28年度には、新橋地域ケアプラザ職員を招いての2025年問題をテーマとした講演会を開催した。

VIII.　助け合い活動（新規事業）

高齢者の支え合い助け合いのための体制づくり支援活動。

IX.　緑園街カフェ（後援）

年2回開催の街カフェに於ける実行委員会の中心的メンバーとして活動。相鉄ホールディングス㈱、横浜市と協力。

緑園地区活性化委員会の各種活動紹介

ブレーンストーミング（定例会）

クリーン＆グリーンアクション（緑の園の継承）

坂の駅ポンテ

小学生作文コンクール

作文集

緑園子ども見守りプロジェクト

緑園いきいきマップ

タスカル・講演会

街カフェ

緑園中学校設置推進協議会の活動

“みんなで勝ち取った中学校誘致”

代表　　石田　和雄

1．中学校誘致は緑園の悲願

◆　緑園には中学校がありません。東小・西小の生徒さんは卒業すると、岡津中、名瀬中そして私立中学校へとバラバラに散ってしまいます。緑園で小学生、中学生として過ごした生徒さんに故郷意識を持ってもらい、緑園に戻ってきてもらいたい。それがこの運動の原点でした。

◆　20年前から起こった誘致運動は中々うまくいきませんでした。広範な運動母体を作る必要を感じ、緑園連合だけでなく、緑園都市コミュニティ協会（RCA）、PTAの保護者（後に、中学校を望む地域の会に発展）、名瀬、新橋、万騎が原の方々にも声を掛けさせてもらい、また、市会、国会の議員の先生方にも参加願いました。

緑園地区住民フォーラム

◆　運動を広く知ってもらうため「地域の会」有志の方は、ポスター（3回）、色刷りのパンフレットを作成し、アンケート調査も行いました。また、市会、国会の先生方を招き「中学校を求める住民フォーラム」などを開催し、運動が少しずつ広がりを見せました。

地域と教育を考えるシンポジウム

◆　平行して、中学校誘致を求める署名活動を行い（運動されたお母さん方、雨の中もご苦労様でした）、15,100名余の署名簿が出来上がりました。この署名簿を添え、横浜市長、教育委員会教育長宛に「陳情書」を提出し、他方議員の先生方に市会での予算措置を頑張ってもらった結果、やっと念願の中学校誘致の運びとなったものです。皆さん長い間頑張りました。本当にご苦労様でした。

2.　誘致までの流れ

2008年5月	緑園中学校設置推進協議会立上げ。
2009年末～4ヶ月	緑園、名瀬、新橋、万騎が原にて署名活動
2010年6月	横浜市長、教育委員会宛「陳情書」提出
2010年9月	「中学校を求める住民フォーラム」開催
2011年～14年	横浜市議会での審議および予算措置
2014年9月	教育委員会より中学校設置決定の公式発表

中学校設置決定の祝賀会に参加の皆さん

⇩

2016年11月	**緑園地区義務教育学校開校準備部会発足**

（以下参考情報です）　　学校名・通学区域等の検討等のため５回開催
（H28/11/15、H29/1/13、3/2、4/27、6/13終了）

学校名案　　「横浜市立緑園義務教育学校」
規則名案　　「横浜市立義務教育学校　緑園学園」

参考 URL:横浜市教育委員会
http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/kadaikibo/ryokuengimu.html

誘致の中心「地域の会」の皆さん

横浜市に陳情書提出記事
（朝日新聞）

住民自らの手で作成した中学校誘致のポスター

緑園バス運行推進協議会の活動

高齢化が加速する緑園地区のために

会長　長谷川幹夫、理事　鈴木清文

緑園地区は泉区の中でも急激に高齢化が進んでいます。
坂のまち緑園地区の高齢者・障害のある方・子育て中の皆様の外出の手助けが大切な事業であると考え、平成23年に活動の準備に入り、平成23年12月緑園バス運行推進協議会を立ち上げ、多くの苦難がありましたが、平成29年度にようやく横浜市道路局のご指導のもと、地域住民のご協力を得て相鉄バス（株）のご判断をいただいて現在の運行形態となりました。

［活動経緯］

平成23年　9月	緑園バス運行推進事業を立ち上げた（メンバー:高野稔氏、鈴木清文氏）
平成23年 12月	緑園バス運行推進協議会を結成
平成24年　3月	横浜市地域まちづくり事業として認可された
平成24年　4月	横浜市道路局の支援のもと助成金が交付された
平成24年 10月	緑園地区全戸に日常の外出行動などバス運行に関するアンケート調査を実施した
平成25年　3月	同上アンケート調査分析結果をもとに具体的活動を開始した
平成25年　6月	活動報告とアンケート調査結果の展示会開催（緑園都市駅構内ギャラリー）
平成25年　7月	緑園周回バス運行のルート・バス停設置予定地の交渉を開始した
平成27年　3月	相鉄バス（株）、神奈川中央交通（株）と運行計画の協議に入った 周回ルート:時計回りの一方向、5丁目は半周のみとなる
平成27年 12月	相鉄バス（株）平成27年12月1日から3ヶ月間実証運行開始した
平成28年　1月	緑園バス運行推進活動「新春フォーラム」開催（緑園4丁目西の街ホール）
平成28年　2月	神奈川中央交通（株）平成28年2月から3ヶ月間実証運行開始した
平成28年　3月	緑園周回バス運行に伴う住民アンケート調査を全戸に実施した
平成28年　7月	実証運行の目標乗車数に至らず本運行実現出来なかった。しかしアンケートで 二俣川への希望が多く引続き相鉄バス（株）と二俣川路線の運行について協議をした
平成29年　3月	緑園都市駅（8:45発）⇒二俣川駅南口行きの運行を3ヶ月間試験運行開始した
平成29年　6月	同上運行が住民の協力により、一定の乗車数を満たしたため運行継続が決定した

［今後の活動について］

緑園連合自治会・RCA の協力を得ながら、更なる増便の運行と小中一貫校設置に伴う周回バス運行の実現に向けた活動を継続させていく、又地域内の交通手段について種々の検討を行っていきます。

相鉄バス臨時増便運行開始

活動報告展示会
（緑園都市駅ギャラリー）

緑園地域防災拠点（震災時避難場所）の活動

緑園東･西小学校地域防災拠運営委員会

泉区では災害時の避難先として、区内23地域防災拠点があり原則として、自治会町内会ごとに避難先を事前に区割りしています。緑園地区では、緑園東小学校地域防災拠点及び緑園西小学校地域防災拠点があり、地域防災拠点運営委員会（地域住民・学校職員・区局職員で構成）が災害発生時に避難・受入れを行います。

≪地域防災拠点とは≫

1）震災により住家を失い、又破損等により住居することが出来なくなった住民の避難場所
2）避難生活者・在宅被災者支援の為の物資配布・情報授受の伝達拠点
3）住民による救助・救護活動拠点
4）救助資機材・生活資機材・食料・飲料水の備蓄機能
※横浜市では市内1ヶ所以上で進度5強以上の地震（気象庁発表）を観測したとき、全地域防災拠点を開設します。

≪緑園地域防災訓練≫

緑園東・西小の避難時区割りは右記のようになっています。緑園東小拠点では6月に小学生と地域の合同避難訓練を1月には拠点運営訓練を中心とした防災訓練を実施し、緑園西小拠点では毎年2月に防災訓練を行っています。

[緑園東小学校地域防災拠点マップ]
緑園４丁目東・緑園５～７丁目
名瀬第四町内会・たかの台
エステアベニュー緑園都市の各自治会

地域住民と児童の避難訓練

簡易担架と搬送訓練

炊飯機使用訓練

三角巾による救急訓練

[緑園西小学校地域防災拠点マップ]
緑園１～３丁目・緑園４丁目西
池の谷の各自治会

訓練時、女性消防団員指導による「減災体操」が行われる

起震車による震度７の体験

緑園キズーナ推進委員会の活動

（緑園地域災害時要援護者支援推進）

元緑園地域キズーナ推進委員会　委員長　田村　守雄

【願　い】 災害弱者を地域内で支え合いたい。

【背　景】 災害発生時は、近隣住民の助力・支援が決め手。
一方、地域内の近所付き合いは希薄で、一層の高齢化が進んでいる。

【目指す方向】

① 要援護者がリストアップされ、緊急時にどんな支援が必要か、連絡先などが、自治会として判っている。
② 要援護者ごとに地域支援者が複数名特定され、安否の確認・避難支援が円滑に進められる様、必要なコミュニケーションが取れている。
③ 民生児童委員の見守りと連携し、自治会として組織的・継続的に支える。

【推進期間】 設立総会　24.5.19　　終了総会　27.5.16　　（3ヶ年）

【推進体制】

単位 8 自治会の会長、福利厚生、防災、民生・児童委員他関係者全 30 名強のメンバーで、連合自治会内に「緑園キズーナ委員会」を設置し、年6回の委員会を3か年、全18回実施して推進。尚、以後のフォローアップを目的に、28,29の両年、連合自治会防犯防災部主催でキズーナ推進情報交換会を全4回実施した。

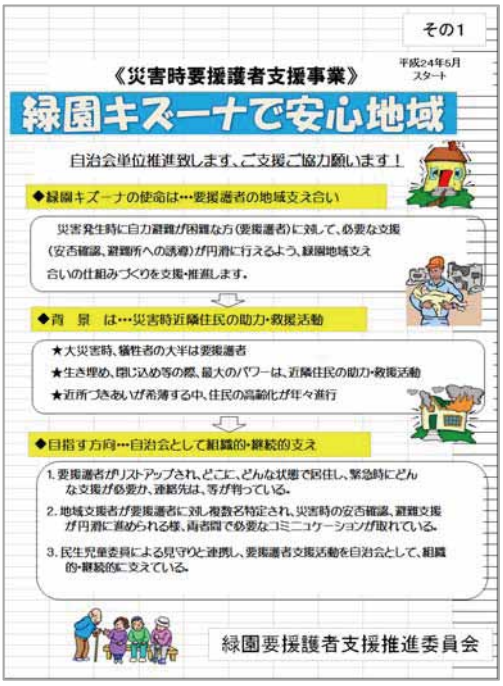
【推進の成果】

自治会ごとにそれぞれ知恵を絞り、特徴のある推進活動を展開し、8 自治会の内、7 自治会がキズーナ事業運営に踏み切る事ができた。
期中に市側から提案のあった、情報共有方式については、緑園の推進体制の枠内（手上げ方式）で、既に2自治会が導入している。

【課題・問題点】

・作業内容と手順が、通常の自治会業務としては複雑で面倒の感が否めず、担当者の交代時等、業務引き継ぎを円滑に行うために特段の留意が必要。
・役員の任期の短い自治会では、特に継続性に関し難度が高い。

以上



緑園スポーツ・文化クラブの活動

ゼネラルマネージャー　山川　昌一

平成22年から活動スタートし、平成29年会員数は472名となっている

【　背　景　】

- 横浜市では 23 年度から自主財源のクラブ型組織で運営しないと学校施設が利用できなくなる。
- 学校開放予約管理システムの導入で、1ヶ月の1団体の利用コマ数に制限が課せられる。
- スポーツ等を行う施設管理の為に、個々に委員会を立ち上げ管理しているがメンバーが重複し、一部の人に負担が偏っている。
- 緑園地区外で活動する団体の利用が目立ち、緑園地区の団体の活動がしにくくなっている。等

【　目　的　】

- 地域の活動拠点は、地域の財産であり、地域住民の為の活動場所として、地域が管理運営する。
- 利用者の視点から、複数の管理主体のまたがる地域スポーツ施設等の横断的一元管理を行う。
- 地域のスポーツ施設等を利用すると共に、自ら運営に関わる人材を確保し、育成する。
- 管理者のもとで、スポーツ・文化活動を活性化すると共に、そのようなスポーツ団体に属さない子供たちや一般市民がスポーツ・文化活動をするきっかけや機会となる事業を企画し運営する。

【　クラブの目標　】

- スポーツ・文化活動を通じて、青少年の健全育成を計る。
- スポーツ・文化活動を提供することで、豊かな街づくりに貢献する。
- 情報発信によりボランティア活動、スポーツ・文化活動を活性化する。
- 指導者の育成を図り、スポーツ・文化活動の裾野を広げ、学校などの派遣協力を行える体制を構築する。

緑園東小学校

【　クラブの事業　】

1、地域スポーツ施設の管理事業

① 緑園西・東小学校の学校開放事業の受け皿
② 東公園多目的広場及びスポーツ広場の管理

2、地域の方々へのスポーツ機会の提供事業

① スポーツ体験教室の開催
② 救命法および応急処置法などの教室の開催
③ 地域事業との連携による情報発信

緑園西小学校

3、地域クラブの充実

① 既存クラブの運営サポート
② 広報活動充実により、クラブ参加者の増加
③ 地域ニーズ吸い上げによる、新規クラブ設立
④ 地域活動の新たな担い手の発掘

4. 市民図書館事業

緑園東公園多目的広場

【　主な活動場所と参加団体種目等　】

定期事業

① スポーツ体験教室　年 2 回（7 月と 11 月）
② ヨガ教室　（6 回以上開催）
③ 体力向上講座　（10 回開催予定）
④ 父子の料理教室　（5 月と 11 月に実施）
⑤ スポーツ救命講習会　（7 月、9 月に開催予定）
⑥ 野外宿泊体験事業　（10 月開催予定）
⑦ 市民図書事業
緑園東小学校の地域交流室で、土曜日:14:00～16:00、
日曜日:10:00～12:00 本の貸し出しを実施しています

緑園多目的スポーツ広場

以下は自主クラブとして活動しています。
“野球、バスケットボール、バレーボール、空手、サッカー、バドミントン、太鼓、少林寺拳法、テニス、剣道”

RCAの活動紹介

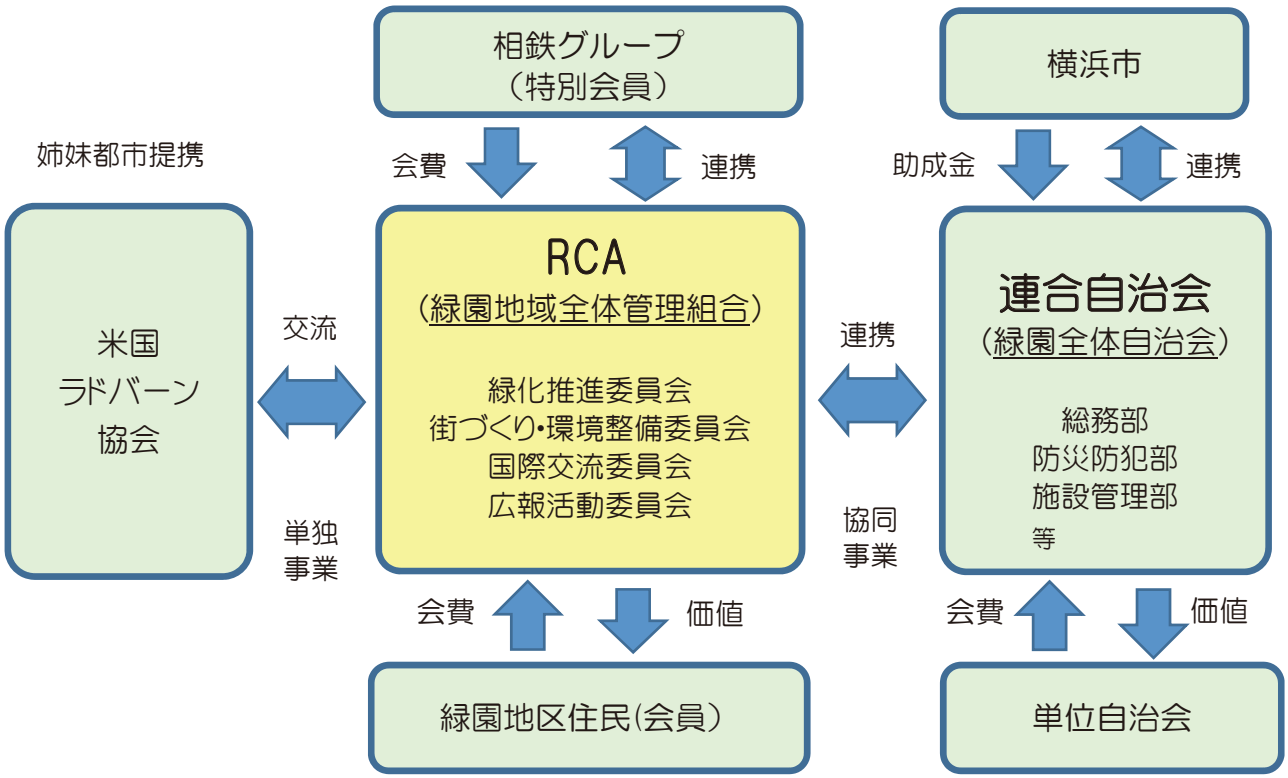
緑園都市コミュニティ協会（Ryokuen-Toshi Community Association 略称：RCA）

RCAは、緑園のこの街が誕生したちょうど30年前の1987年4月に、開発事業者（相鉄）、物件購入者、地権者が一体となって旧来の自治会組織とは別に、**日本では初めて住民主体の「まちづくり組織」として設立されました。**

その組織は、米国の住宅地には必ずあるH.O.A.（Home Owners Association）を参考に、その先進事例である米国ニュージャージー州にあるラドバーン住宅地のHOAをモデルにしたものです。その考え方は、**住宅地を一つの共有財産**としてとらえ、維持管理してゆくといういわゆるマンションにおける管理組合の戸建て含めた地域版、つまり**緑園地域全体の管理組合**の趣旨に比較的近いものと考えていただければ判り易いと思います。

RCAはその目的として、「快適で安全な居住環境の確保と住民相互の社会的・経済的地位等の向上・促進」と定めています。その目的を達成するための「まちづくり活動」に重点を置いています。一方で連合自治会は、その目的に「会員（住民）相互の親睦と福利を図り、良好な住環境づくりを目指す」とあり、行政絡めたいわば人と人とのつながりに重点を置いた、緑園全体の単位自治会の代理組織です。

RCAって、なんとなくおわかりいただけたでしょうか。RCAは、下図に示すように連合自治会、相鉄等関連組織と密接に連携し、次頁にご紹介する、さまざまな活動をとおして、緑園地域のより良いまちづくりを推進しています。



■ラドバーン協会（参考）

- 立地：ニュージャージー州フェアローン市（ニューヨークから北西に約 30 ㎞）
- 開発年：1929 年/開発面積：60ha/人口：3000 人弱/住戸数：670 戸
- 設計者：クラーレンス・スタイン、ヘンリー･ライト「近隣住区理論」に基づき計画された住宅地。
- 自動車時代の町をスローガンにクルドサックによる完全歩車分離を目指した。
- ＨＯＡ（Home Owners Association）による運営管理
  - ✧ オープンスペースを主に地区全般の維持管理などを住民自らが行うことを目的として設立。
  - ✧ コモンスペースの共同管理による住環境の維持および資産価値の保全・向上を図っている。
  - ✧ 住民による投票で選出される任期は３年。すべてボランティアである。

RCAの主な活動を紹介します！

【快適で安全な居住環境の確保】

花の頒布会

毎年春秋に東小グランドで開催しています。
街並みを美しい花で飾ろう!

防犯カメラ設置管理

駅前や四季の径トンネル出入口に防犯カメラを設置し維持管理しています。

四季の径等の美化推進

街のシンボル四季の径や駅前等の花壇等の植替えや、維持管理各団体等を支援しています。

青パト(協同事業)

小学生の下校時、薄暮時に巡回する緑園独自の青パトの運営参加と管理をしています。

まちづくりガイドライン

住環境・景観維持のための自主基準です。新築・改築の際、施工主や業者に協力要請しています。

トークサロン

諸外国の留学生・大使館職員等をスピーカーに招き、母国の歴史・文化等紹介していただく会を開催しています
（詳細は P44　参照）

ラドバーンとの交流支援他

姉妹住宅地であるラドバーン等との小学生同士の文通等人的交流を支援しています。

RCAだより
緑えんネット維持管理

http://www.ryokuen.gr.jp/

緑園地域情報共有サイトです。
我がまちの情報が満載です！

大学・高校交流

フェリス女学院大学や緑園高校との交流活動を企画推進しています。

RCA関連組織への運営支援

会館運営(共同事業)

緑園クラブハウスや自治会館を連合自治会と共同運営しています。

【住民相互の社会的・経済的地位等の向上・促進】

RCA国際交流委員会

根岸史修・渡辺直敬

緑園のモデルとなった米国ニュージャージー州ラドバーンとの姉妹タウン締結交流を契機として、留学生・在住外国人と緑園住民との交流を目的にRCA国際交流委員会が1991年設置される。
「トークサロン」は1996年第1回から始まり、約60ヵ国の留学生、外国人をスピーカーとして世界各国の歴史文化を理解、住民との交流を深めて来た。

毎年12月の「イヤーエンド国際交流パーティー」は、多くの各国留学生（主として横浜国大、フェリス女学院大）を招き、住民と歓談、各国の文化習慣の相互理解を深め、交流の中から友情が芽生え、帰国後にも繋ながる交流のきっかけとなっている。この他「留学生着物着付け横浜花火大会賞」、「新留学生歓送会」「日本語スピーチ大会」にRCA会員が参加、友好を深めている。また「姉妹タウンラドバーンと緑園小学校の生徒同士のペンパル交流」につき手紙の翻訳などサポートしている。

イヤーエンドパーティアトラクション

イヤーエンドパーティー

RCAトークサロン

学生着物着付け横浜花火大会

トークサロンスピーカー

ラドバーン小学校、緑園東小学校とのペンパル交流

RCA国際交流委員会　トークサロン歴代スピーカーの国旗

左上から右へ第 1 回から最終下段第126回まで

スピーカーは 126 回までにその国籍は、アルゼンチン、アメリカ、イギリス、イエメン、イラン、インド、インドネシア、ウクライナ、ウズベキスタン、エクアドル、エジプト、オーストラリア、カナダ、韓国、カンボジア、キリギス、クロアチア、ケニア、コロンビア、スエーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、タイ、台湾、中国、チリ、ドイツ、トルコ、ニカラグア、日本、ニュージーランド、ネパール、ノルウエー、パキスタン、パラグワイ、パレスチナ、ハンガリー、バングラディッシュ、フィリピン、フィンランド、ブータン、ブラジル、ブルガリア、フランス、ベトナム、ペルー、ベルギー、ポーランド、マレーシア、ミャンマー、メキシコ、モンゴル、ユーゴースラビア、リビア、ルーマニア、リトアニア、ロシアとなり全世界にわたる。

緑園地区年間主要行事

４月

- **緑園東小学校入学式**
- **緑園西小学校入学式**
- **岡津中学校入学式**
  ※ 桜の咲く時期新入生を迎えます。

- **保育園の入園式（3 園）**
  ※ 新しい友達に胸がいっぱい仲良くあそぼう。

入学式

５月

- **緑園連合自治会・総会**
- **緑園都市コミュニティ協会総代会**
  ※ 事業･決算報告及び事業計画･予算を審議します。
- **春の花の頒布会**
  ※ 季節の花を住民の皆様に提供します。

ふれあいフェスティバル

６月

- **緑園ふれあいチャリティフェスティバル**
  ※ 地域住民が集い歌や踊りでふれあいます。

- **緑園東小学校地域防災拠点防災訓練**
  ※ 地域と子ども達が合同で避難訓練を行います。

花の頒布会

７月

- **ひかりの園夏祭り**
  ※ 多くの地域ボランティアの皆さんが参加し、通園者･保護者･子ども達で終日にぎわいます。

夏祭り

８月

- **緑園夏祭り大会**
  ※ 毎年夏の夜のひと時を盆踊りや模擬店で多くの住民が参加し楽しいひと時を過します。

秋の例大祭

９月

- **山王神社例大祭**
  ※ 住民のよりどころで毎年恒例のお祭りがおこなわれます。

- **緑園地区敬老祝賀会**
  ※ 75歳以上の長寿を祝い開催します。

敬老祝賀会

10月

- **緑園連合運動会**
  ※ 8町内が対抗し子供から大人までもりあがります。
- **緑園福祉ふれあい祭り**
  ※ 自治会はじめ40団体が参加し模擬店や演技を終日楽しみます。

運動会

11月

- **秋の街カフェ**
  ※ 秋の一日演奏やカフェを楽しみます。
- **地域と区のつどい**
  ※ 区役所と住民代表で課題を話し合います。
- **秋の花の頒布会**
  ※ 季節の花を住民の皆様に提供します。

街カフェ

12月

- **緑園地域一斉清掃**
  ※ 緑園全域を総出で清掃します。
- **年末特別パトロール**
  ※ 行政、警察、住民で地域をパトロールします。

初詣

1 月

- **山王神社初詣**
  ※ 新年が良い年であることを願いお参りします。
- **緑園地区新年祝賀会**
  ※ 新年を迎え地域の繁栄を祝います。
- **小学生作文コンクール表彰式**
  ※ 緑園東・西小学生が参加し優秀作品を表彰します。
- **緑園東小学校地域防災拠点防災訓練**
  ※ 地域住民による防災訓練を行います。

防災訓練

2 月

- **緑園西小学校地域防災拠点防災訓練**
  ※ 地域住民による防災訓練を行います。
- **緑園マラソン大会**
  ※ 子供から大人まで参加して競います。

作文コンクール表彰式

3 月

- **緑園東小学校卒業式**
- **緑園西小学校卒業式**
- **岡津中学校卒業式**
  ※ 共に励んだ母校とのお別れを惜しみ卒業を祝います。
- **保育園卒園式(3園)**
  ※ ピカピカの一年生へ希望がいっぱいです。
- **シルバーウォーキング**
  ※ 60歳以上が参加し緑園近郊を歩きます。

マラソン大会

写真で見る緑園地域の行事

夏祭り大会

運動会

敬老祝賀会

緑園地区
敬老祝賀会会場

祝 緑園30周年記念
祝緑園地区敬老祝賀会

祝 緑園30周年記念
祝緑園地区敬老祝賀会

新年祝賀会

緑園地区
新年祝賀会会場

祝緑園地区賀詞交歓会

祝緑園地区賀詞交歓会

緑園地域ふれあいフェスティバル

緑園福祉ふれあい祭り

緑園地域で活動する各種団体(活動場所別)

【緑園地域交流センター１】

団体名称	利用目的
緑園サロン	高齢者サロン
緑園武術太極拳クラブ	太極拳
親と子のいばしょ“ぐりん”	子育て支援
泉管弦楽団	楽団練習
グレーシアMC	マージャン
タスカル	交流会
すずめ会	マージャン
緑園卓友会	卓球
ＦｅｅｓＣｈａｒｍ	新体操
ＲＳＣ健康体操	ストレッチ体操
モコモコキッズサークル	子育て支援
パッチワークキルト緑園	パッチワーク
いちごの会	バドミントン
川西クラス	英語読書学習
広若会	日本舞踊
カトレア	フラダンス
クローバー会	マージャン
ＺＵＭＢＡ@緑園	ズンバダンス
にこにこクラブ	エアロビクス
ひまわり	卓球
フレッシュ体操	ストレッチ体操

【緑園地域交流センター２】

団体名称	利用目的
ひさかた会	かるた・百人一首
ＭＪクラブ	マージャン
緑園青少年居場所づくり	青少年行事
楊名時太極拳 円	太極拳
馬貴八掛掌健身会	中国式体操
緑園ピンポンクラブ	卓球
ふじなみ会	マージャン
新月会	卓球
緑園サークル	健康運動
柚の会	卓球
緑園ファジー	ファジイテニス
アロハサークル	フラダンス
ガールスカウト第４２団	技術訓練
大人の居場所	高齢者サロン
あにょはせよ	韓国語学習
破天荒	よさこい踊り
榎本会	書道
居合道	居合道
ルナの会	ヨガ
四季の会	茶道
帝会館	空手

【自治会館】

ぐるんぱの会	絵本と歌
俳画同好会	俳画の研鑽
パソコン教室	パソコン指導・教育
ステンド同好会	ステンドグラス作成
レザークラフトサークル	レザー工作
風円会	太極拳練習
スケッチ水彩画	水彩画
赤ちゃん教室	子育て支援
森田書道教室	書道

【クラブハウス】

緑園囲碁サークル	囲碁
緑園書道会	書道
花と美女クラブ	フラワーアレンジメント
きらきら星の会	バイオリン演奏
アットハットダンス	ダンス
Ｒ＆Ｔプライム エクササイズ	エアロビクス
みなまきの会	フォークダンス
緑園ラービー	少年野球定例会
子すずめ会	マージャン
南北緑友会	シニアクラブ交流会
ＲＣＡ国際交流委員会	留学生研修会
新橋ケアプラザ	介護予防体操

【緑園多目的スポーツ広場】　（中学校予定地）

緑園グリーンピースキッカーズ	少年サッカー
ＮＰＯ法人ＳＥＡ	少年サッカー
二俣川サッカークラブ	少年サッカー

【緑園東公園多目的広場】

団体名称	利用目的
● 緑園ＧＧ会	グランドゴルフ
● 緑園ラービー	少年野球
● 緑園グリーンピースキッカーズ	少年サッカー
● 緑園パワーズ	ソフトボール
● ＮＰＯ法人ＳＥＡ	少年サッカー
● なかよし放課後児童クラブ	児童遊び
● なえば保育園	園児遊び・運動会
● フェリス女学院ラクロス部	ラクロス

【緑園西小学校】

団体名称	利用目的
● 西小マナーキッズテニス	ソフトテニス
● 横浜緑園クラブ	健康体操
● Y’ is 体操クラブ	体操
● 空の会(6人制女子バレーボール)	バレーボール
● ママさんバレー レッドハーツ	バレーボール
● 緑園西ママさんバレーボール	バレーボール
● 黎明会 緑園空手部	空手
● 破天荒	よさこい踊り

【緑園東小学校】

● 緑園ＨＣ(ハイクリア)	バドミントン
● 緑園東バレー部	バレーボール
● 緑園ミニバスケットボールクラブ	バスケットボール
● 緑園バスターズ	バスケットボール
● 名瀬剣道教室	剣道
● ポンペルモ	サッカー
● 相州 泉美野太鼓	太鼓練習
● 和太鼓	太鼓練習
● 緑園ラービークラブ(西小も)	少年野球
● 緑園グリーンピースキッカーズ	少年サッカー
● 拳道学	空手

【西・東コミニュティセンター、遊水池】

● 緑園コーラス	コーラス
● 緑園テニスクラブ	硬式テニス
● 緑園テニス同好会	硬式テニス

緑園地域で活動する各種団体（写真編）

健康体操（ＲＳＣ）

子育て支援（ぐりん）

かるた・百人一首（ひさかた会）

卓球（緑園ピンポンクラブ）

フラダンス（アロハサークル）

高齢者サロン（緑園サロン）

オーケストラ（泉管弦楽団）

書道（森田書道教室）

高齢者居場所（東花会）

パソコン（緑園パソコン教室）

マージャン（すずめ会他）

グランドゴルフ（緑園ＧＧ会）

サッカー（緑園ＧＰＫ）

テニス（緑園テニスクラブ）

少年野球（緑園ラービー）

バスケットボール
（緑園ミニバスケットボールクラブ）

コーラス（緑園コーラス）

よさこい踊り（破天荒）